

第102回 食の安全「基本のお話」



無料公開中!

遺伝子組換え作物のドキュメンタリー映画 「WELL FED」の紹介 ※字幕スーパー



■「WELL FED」は、2017年にオランダで制作されました。

遺伝子組み換え作物に否定的なイメージを抱くカーステンさんと、組み換え作物の利点をよく知る科学ジャーナリストのヒッデさんが、互いに議論しながら、組み換え作物の真相に迫っていくドキュメンタリーです。2人は、小規模農家が害虫抵抗性の遺伝子組み換えナス(Btナス)を栽培して、農薬使用の少ない農業を実現させているバングラデシュに行き、ようやく組み換え作物の実像の一端を知ることになります。

右記の二次元コードから無料で視聴できます。

〈Vimeoの字幕視聴の方法〉画面右下の「CCマーク」を

クリックして、「日本語」を選択してください。

※Androidの場合、Vimeoアプリをダウンロードして、「:」からの操作が必要な場合があります。



※映画の概要:
遺伝子組み換え作物に関する映画実行委員会



■9月16日(金)、オランダから監督のカーステンさんとヒッデさんを招いて、上映会とパネルディスカッションが京都で開催されました。主催:遺伝子組み換え作物に関する映画実行委員会

元毎日新聞編集委員 小島さんの進行で、京都大学の木下准教授、コープこうべの元品質管理部長の古山さん、会場の参加者を交えて、活発な意見交換が行われました。

〈映画 WELL FEDから
日本の農林水産業の未来を考える〉



上映会とパネルディスカッションのようす

〈意見交換会で出た意見〉

- WELL FEDは直訳すれば、「十分に食事が満たされた」という意味。先進国の飽食の裏側に潜む途上国の実態を知ってほしい。
- 都会でくらす裕福な人の価値観を発展途上国にも押し付けているというのが実像ではないか。しかもその価値観は、科学とは無縁だ。
- 新しい技術、科学を受け入れなければ、飢えた子どもたちを養うことや持続可能な農業を行うことは、今よりずっと困難になるのではないか。

■12月9日(金)、堺東の生協ホールで「映画 WELL FEDから見える食の真実」(上映と意見交換会)を開催します。(会場参加・オンライン参加)

映画上映の後、小島さんに映画の解説と京都でのパネルディスカッションのようすを紹介していただき、意見交換します。

申込は
コチラ→

